

熊本県の畜産の概要

令和5年（2023年）4月

熊本県農林水産部生産経営局畜産課

全国の農業における熊本県農業の地位

1 主要農産物の生産量

- ① 農業生産の主要な担い手である基幹的農業従事者数は全国第4位
- ② 農業産出額は全国第5位（R2年）であり、生産農業所得は全国第3位（R2年）
- ③ 主要品目の生産量をみると、トマト、すいかなどが全国第1位

| 区 分 | 単 位 | 全 国 | 九 州 | 熊 本 県 | 熊本県の全国に占める | | |
|---|-------------------|---------|---------|-------|------------|--------|---------------|
| | | | | | 順 位 | 割合 (%) | |
| 農 家 戸 数 (R2年) | 千戸 | 1,747.0 | 247.4 | 47.9 | 13 | 2.7 | |
| 認 定 農 業 者 数 (R2.3月末) | 千人 | 233.8 | 45.7 | 10.6 | 3 | 4.5 | |
| 基 幹 的 農 業 従 事 者 数 (R2年) | 千人 | 1,362.9 | 224.7 | 51.8 | 4 | 3.8 | |
| 耕 地 面 積 (R2年) | 千ha | 4,372.0 | 520.4 | 109.1 | 13 | 2.5 | |
| 農 業 産 出 額 (R2年) | 億円 | 89,370 | 17,422 | 3,407 | 5 | 3.8 | |
| 畜 産 産 出 額 (R2年) | 億円 | 32,372 | 8,156 | 1,192 | 8 | 3.7 | |
| 生 産 農 業 所 得 (R2年) | 億円 | 33,433 | 6,690 | 1,495 | 3 | 4.5 | |
| 主 要 農 産 物 の 収 穫 量 | ト マ ト (R2年) | 千 t | 706.0 | 203.5 | 135.3 | 1 | 19.2 |
| | す い か (R2年) | 千 t | 310.9 | ... | 49.9 | 1 | 16.1 |
| | 不知火類(デコポン) (H30年) | 千 t | 52.9 | ... | 22.3 | 1 | 42.2 |
| | 葉たばこ(販売量) (R2年) | 千 t | 13.7 | 7.9 | 2.2 | 1 | 15.7 |
| | い め ぎ (R2年) | 千 t | 6.3 | ... | 6.3 | 1 | 対主産県比 99.2 |
| | 宿根カスミソウ (R2年) | 千本 | 46,600 | ... | 17,600 | 1 | 37.8 |
| | カリフラワー (R2年) | 千 t | 21.0 | ... | 2.4 | 2 | 11.4 |
| | な す (R2年) | 千 t | 297.0 | 63.0 | 34.2 | 2 | 11.5 |
| | メ ロ ン (R2年) | 千 t | 147.9 | ... | 24.4 | 2 | 16.5 |
| | し ょ う が (R2年) | 千 t | 44.7 | ... | 4.9 | 2 | 10.9 |
| | な つ み か ん (H30年) | 千 t | 32.7 | ... | 7.7 | 2 | 23.5 |
| | く り (R2年) | 千 t | 16.9 | 3.7 | 2.4 | 2 | 14.4 |
| | トルコギキョウ (R2年) | 千本 | 88,000 | ... | 10,500 | 2 | 11.9 |
| | い ち ご (R2年) | 千 t | 159.2 | ... | 12.2 | 3 | 7.7 |
| | アスパラガス (R2年) | 千 t | 26.7 | ... | 2.2 | 3 | 8.2 |
| | 乳用牛(飼養頭数) (R2年) | 千頭 | 1,352.0 | 105.5 | 44.4 | 3 | 3.3 |
| | うんしゅうみかん (R2年) | 千 t | 765.8 | 224.7 | 82.5 | 4 | 10.8 |
| | 肉用牛(飼養頭数) (R2年) | 千頭 | 2,555.0 | 927.1 | 132.3 | 4 | 5.2 |
| | うち褐毛和種(あか牛) | 千頭 | 23.3 | 16.9 | 16.3 | 1 | 70.0 |
| | か ん し ょ (R2年) | 千 t | 687.6 | ... | 17.3 | 6 | 2.5 |
| 水 稻 (R3年) | 千 t | 7,563.0 | 752.0 | 156.3 | 16 | 2.1 | |
| 肉牛出荷頭数 (R2年) | 千頭 | 1,047.3 | ... | 45.4 | 4 | 4.3 | |
| 生乳生産量 (R2年) | 千 t | 7,438.2 | ... | 259.2 | 3 | 3.5 | |
| 鶏卵出荷量 (R3年) | 千 t | 2,574.3 | ... | 44.5 | 22 | 1.7 | |

2 家畜飼養頭羽数の全国順位

| 畜種 | 全国順位 | 都道府県 | 飼養頭羽数 | 飼養戸数 | 1戸当たり | |
|----------------|-----------|-----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 乳用牛 | | 全国 | 1,371,000頭 | 13,300戸 | 103.1頭 | |
| | 1 | 北海道 | 846,100頭 | 5,560戸 | 152.2頭 | |
| | 2 | 栃木 | 54,800頭 | 615戸 | 89.1頭 | |
| | R4.2 | 3 | 熊本 | 43,600頭 | 494戸 | 88.3頭 |
| | 4 | 岩手 | 40,100頭 | 765戸 | 52.4頭 | |
| | 5 | 群馬 | 33,600頭 | 412戸 | 81.6頭 | |
| 肉用牛 | | 全国 | 2,614,000頭 | 40,400戸 | 64.7頭 | |
| | 1 | 北海道 | 553,300頭 | 2,240戸 | 247.0頭 | |
| | 2 | 鹿児島 | 337,800頭 | 6,690戸 | 50.5頭 | |
| | R4.2 | 3 | 宮崎 | 254,500頭 | 4,940戸 | 51.5頭 |
| | 4 | 熊本 | 133,600頭 | 2,170戸 | 61.6頭 | |
| | 5 | 岩手 | 89,200頭 | 3,650戸 | 24.4頭 | |
| 豚 | | 全国 | 8,949,000頭 | 3,590戸 | 2,492.8頭 | |
| | 1 | 鹿児島 | 1,199,000頭 | 452戸 | 2,652.7頭 | |
| | 2 | 宮崎 | 764,200頭 | 335戸 | 2,281.2頭 | |
| | R4.2 | 3 | 北海道 | 727,800頭 | 203戸 | 3,585.2頭 |
| | 4 | 群馬 | 604,800頭 | 185戸 | 3,269.2頭 | |
| | 5 | 千葉 | 582,500頭 | 215戸 | 2,709.3頭 | |
| | 10 | 熊本 | 339,400頭 | 146戸 | 2,324.7頭 | |
| 採卵鶏 (成鶏雌のみ) | | 全国 | 137,291千羽 | 1,810戸 | 75.9千羽 | |
| | 1 | 茨城 | 12,330千羽 | 101戸 | 122.1千羽 | |
| | 2 | 千葉 | 10,475千羽 | 103戸 | 101.7千羽 | |
| | R4.2 | 3 | 鹿児島 | 8,681千羽 | 103戸 | 84.3千羽 |
| | 4 | 愛知 | 7,642千羽 | 43戸 | 177.7千羽 | |
| | 5 | 岡山 | 6,551千羽 | 121戸 | 54.1千羽 | |
| | 22 | 熊本 | 2,125千羽 | 38戸 | 55.9千羽 | |
| ブロイラー | | 全国 | 139,230千羽 | 2,100戸 | 66.3千羽 | |
| | 1 | 鹿児島 | 28,090千羽 | 378戸 | 74.3千羽 | |
| | 2 | 宮崎 | 27,599千羽 | 446戸 | 61.9千羽 | |
| | R4.2 | 3 | 岩手 | 21,095千羽 | 280戸 | 75.3千羽 |
| | 4 | 青森 | 8,058千羽 | 63戸 | 127.9千羽 | |
| | 5 | 北海道 | 5,180千羽 | 9戸 | 575.6千羽 | |
| | 7 | 熊本 | 3,848千羽 | 67戸 | 57.4千羽 | |

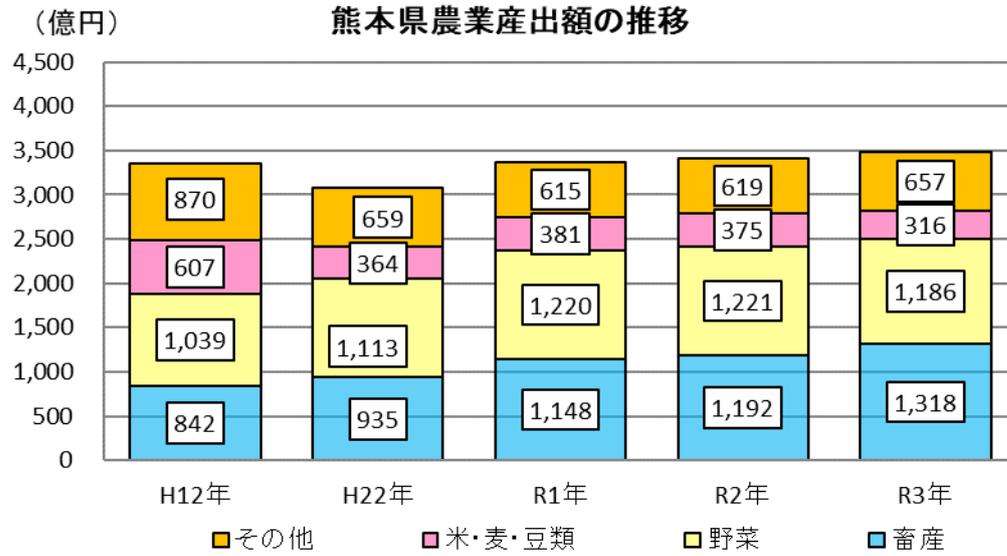
資料：農林水産省「畜産統計(R4年)」

令和3年熊本県の農業産出額

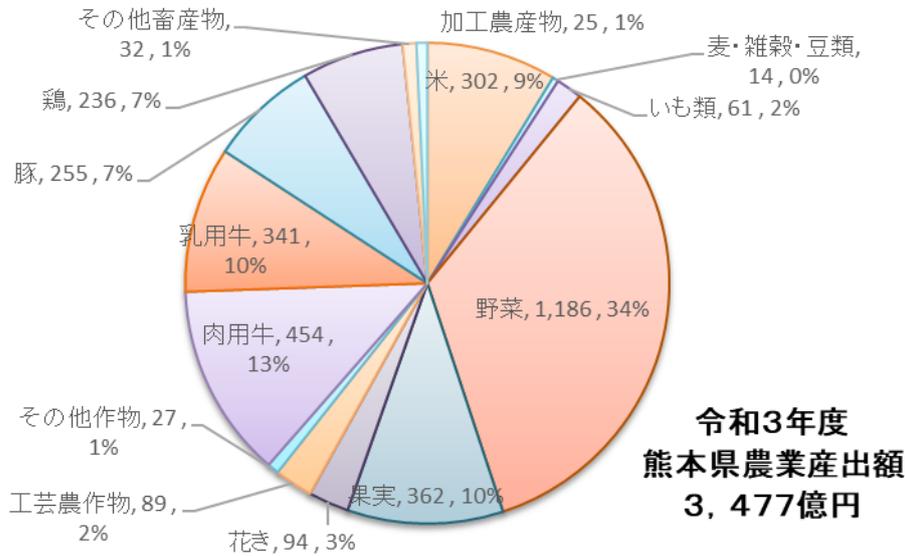
1 農業産出額の推移

平成2年には過去最高の4,016億円となったが、その後減少傾向で推移。近年は横ばい傾向が続き、令和3年は3,477億円となった。

令和3年の農業産出額の主要部門別構成割合をみると畜産部門が最も多い37.9%を占め、県農業の重要な部門となっており、次いで野菜（34.1%）となっている。



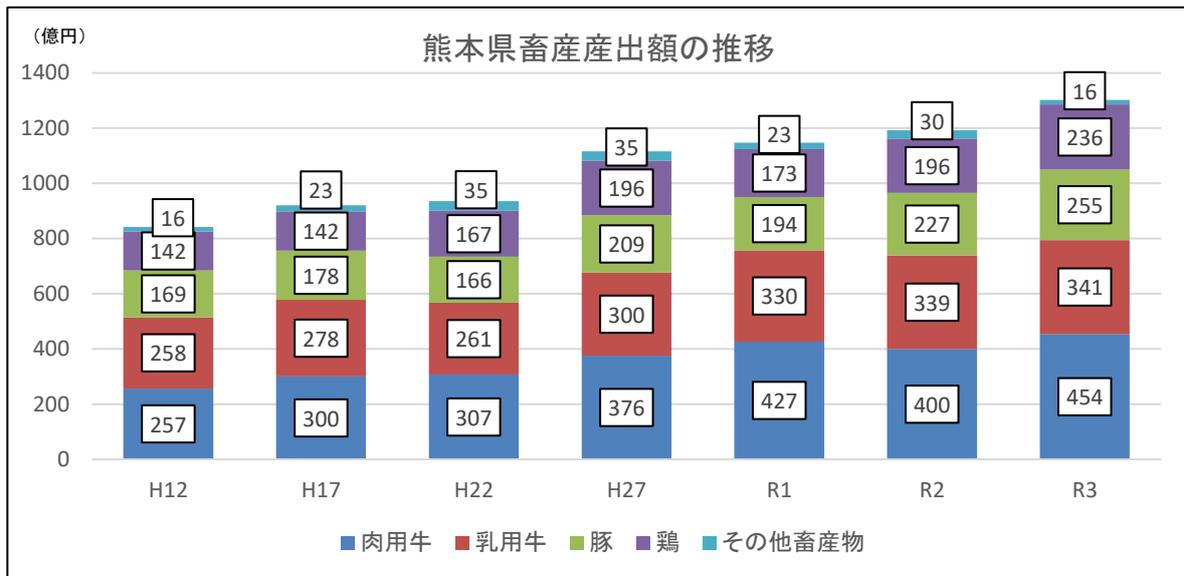
資料：農林水産省「生産農業所得統計」



2 畜産産出額の推移

畜産産出額は、牛肉輸入自由化の影響等により平成3年以降は1,000億円を下回って推移していたが、近年増加傾向で推移し、令和2年は1,318億円となった。

畜種別では、肉用牛が454億円（畜産産出額に占める割合34.4%）と最も高く、ついで乳用牛341億円（同25.9%）、豚255億円（同19.3%）、鶏236億円（同17.9%）の順となっている。



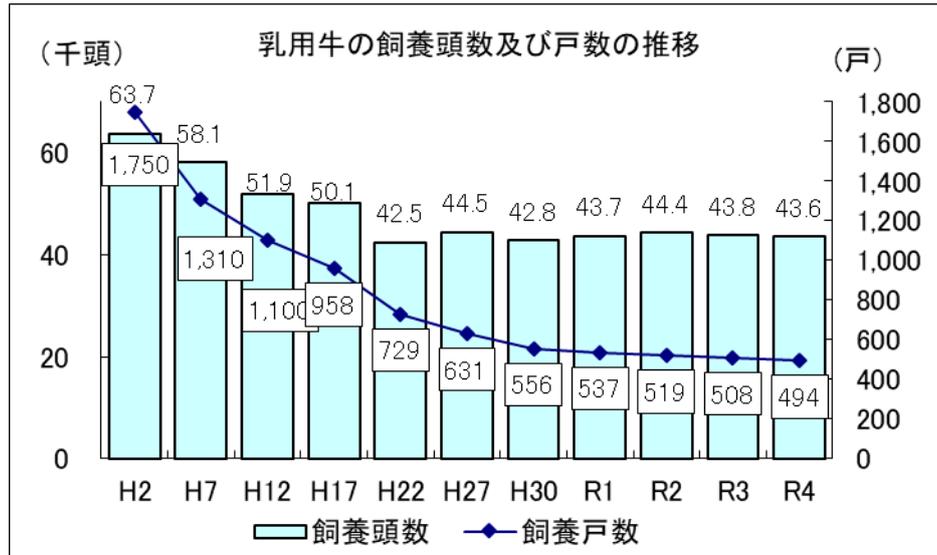
資料：農林水産省「生産農業所得統

部 門 別 の 現 況

1 乳用牛

(1) 飼養の状況（令和4年）

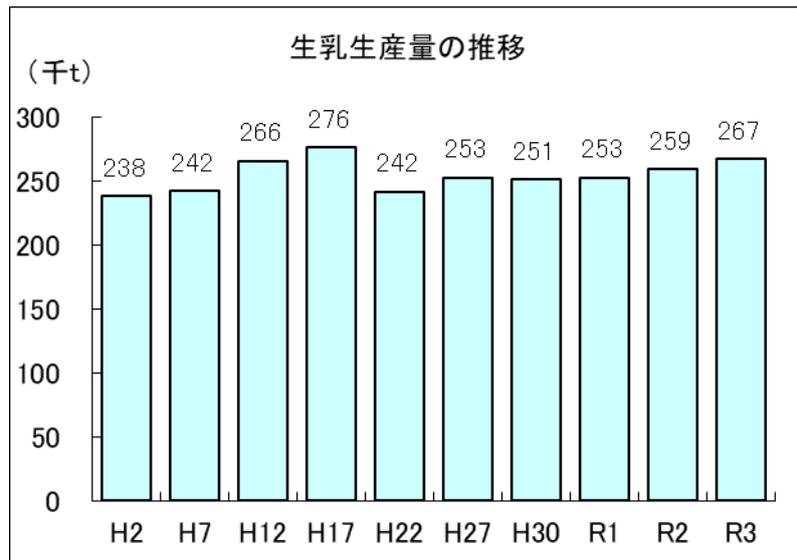
- ・ 飼養戸数：494戸（前年比2.8%減）、年々減少傾向。
- ・ 飼養頭数：43,600頭（前年比0.5%減）、近年は増加傾向で推移していたが、前年に比べて減少した。



資料：「畜産統計」（農林水産省）

(2) 生乳生産量（令和3年）

- ・ 生乳生産量：267.2千トン（前年比3.1%増）、西日本第1位。

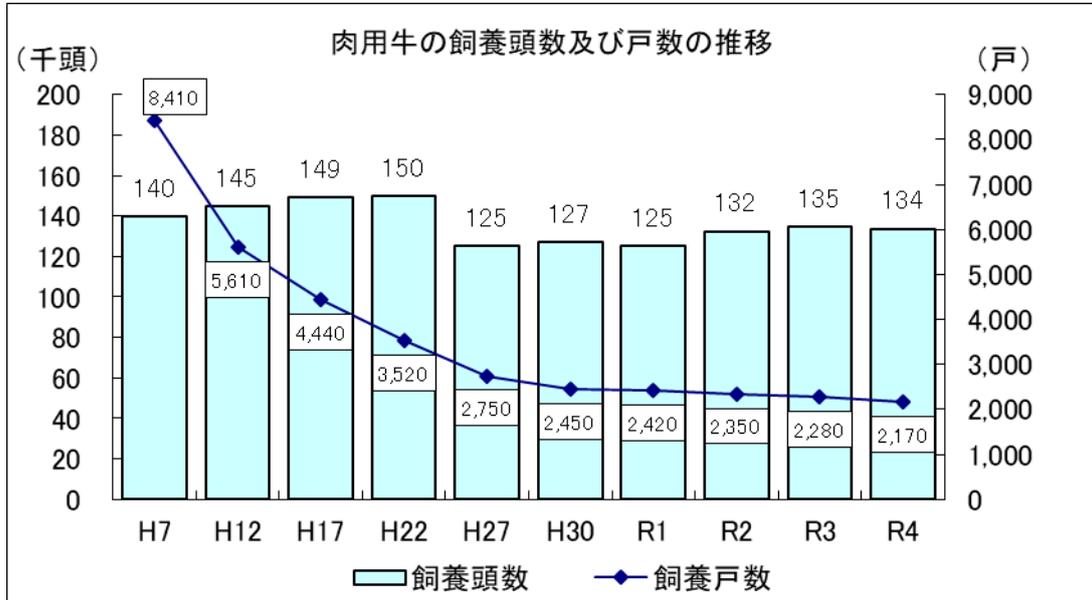


資料：「牛乳乳製品統計」（農林水産省）

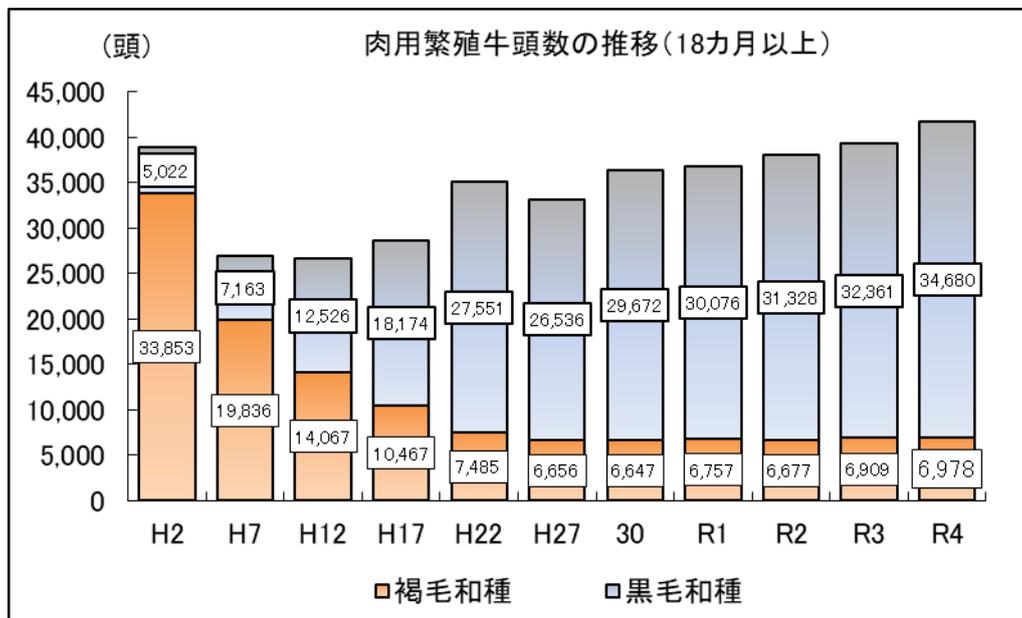
2 肉用牛

(1) 飼養の状況（令和4年）

- ・飼養戸数：2,170戸（前年比4.8%減）、年々減少傾向。
- ・飼養頭数：133,600頭（前年比0.8%減）、褐毛和種及び交雑種、乳用種は増加し、黒毛和種で減少。



- ・繁殖雌牛飼養頭数：41,658頭（前年比6.1%増）
うち黒毛和種34,680頭（前年比7.2%増、肉用繁殖牛に占める割合83.2%）
うち褐毛和種6,978頭（前年比0.9%増、16.8%）



資料：「熊本県畜産統計」（熊本県）

注）調査時点は、平成23年度以前は各年の12月31日。
平成24年度以降は、各年の2月1日。

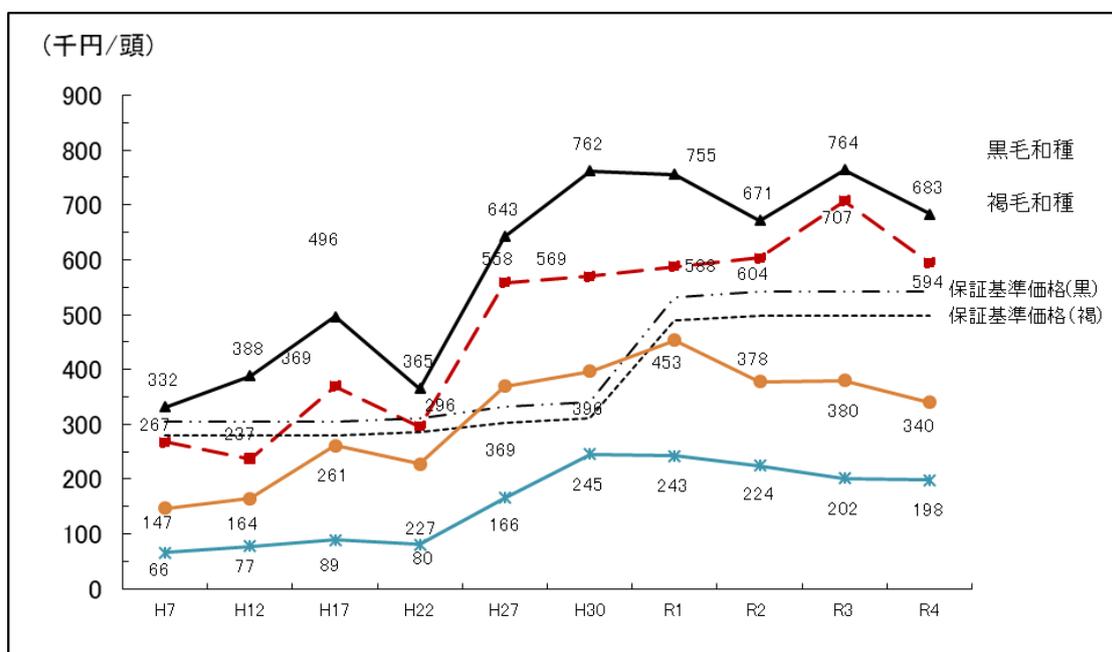
(2) 肉用子牛の価格（令和4年）

- ・黒毛和種 683千円（前年比10.5%減）直近（R5.3月）655千円 ※速報値
- ・褐毛和種 594千円（前年比16.1%減）直近（R5.3月）554千円 ※速報値

子牛価格は、全国的な繁殖雌牛の減少により子牛の分娩頭数が減少したことに加え、枝肉価格が上昇したことから、24年度以降は、肉用子牛価格も上昇し、過去20年で最高水準で推移。

令和3年は、黒毛和種は、新型コロナウイルス感染症の影響による外食及びインバウンド需要の減少の影響を大きく受け、枝肉の在庫が滞留したこと等により子牛価格も影響を受け、前年を下回って推移した。一方、褐毛和種は、全国的な赤身ブーム等により枝肉の引きも強く、子牛価格も前年比を上回って推移した。

令和4年は5月から、配合飼料価格高騰の影響による肥育農家の買い控えと考えられる子牛価格相場の低下がみられた。黒毛和種は9月の589千円、褐毛和種は10月の514千円を底に、11月～12月はやや持ち直した。



資料：(独)農畜産業振興機構公表値（H16年までは（公社）熊本県畜産協会集計値）

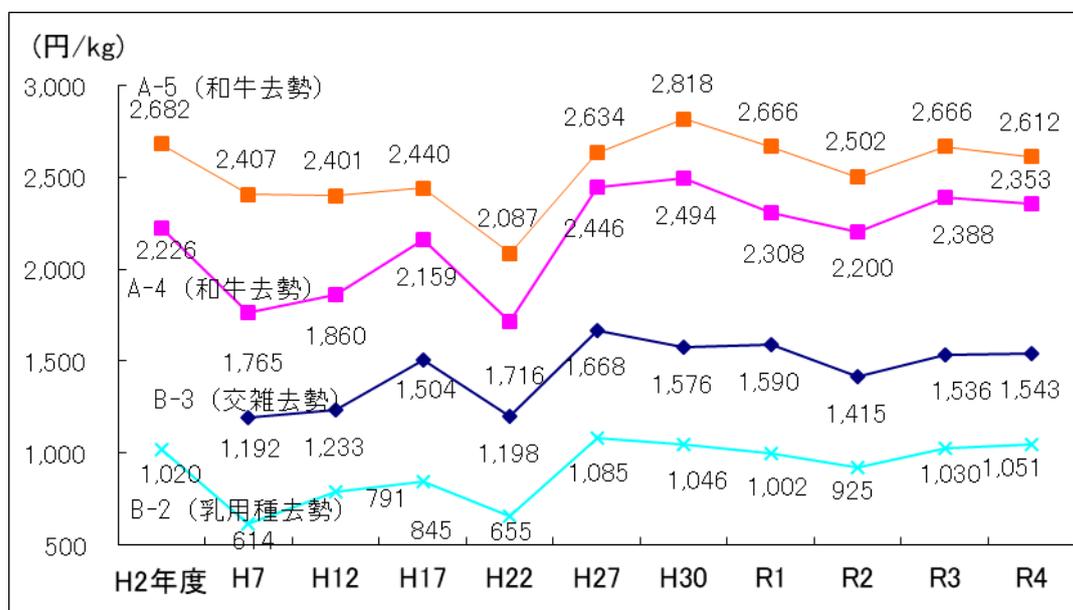
参考：R3年度から、集計の対象となる条件を変更。

(3) 牛枝肉の価格（令和4年度、卸売価格）

- ・和牛去勢A-5 2,612円（前年比2.0%減） 直近（R5.3月）2,647円
- ・和牛去勢A-4 2,353円（前年比1.5%増） 直近（R5.3月）2,285円
- ・交雑牛去勢B-3 1,543円（前年比0.5%増） 直近（R5.3月）1,639円
- ・乳用牛去勢B-2 1,051円（前年比0.2%減） 直近（R5.3月）1,151円

牛枝肉の卸売価格は、平成13年9月の国内BSE発生、平成23年3月の東日本大震災により一時的に低落した。23年度後半からは、生産量の減少により上昇し、28年度には過去最高水準まで高騰。29年度は価格高騰の反動によりやや価格が低下したものの、30年度も高水準で推移。

令和4年度は、物価高騰の影響により需要が低下した他、アメリカ向け牛肉輸出の不調もあり、相場は下落傾向にあったが、直近（3月）ではインバウンド需要や円安による輸出への期待感もあり、和牛去勢A-5で2,647円/kgと昨年度平均をやや上回っている。

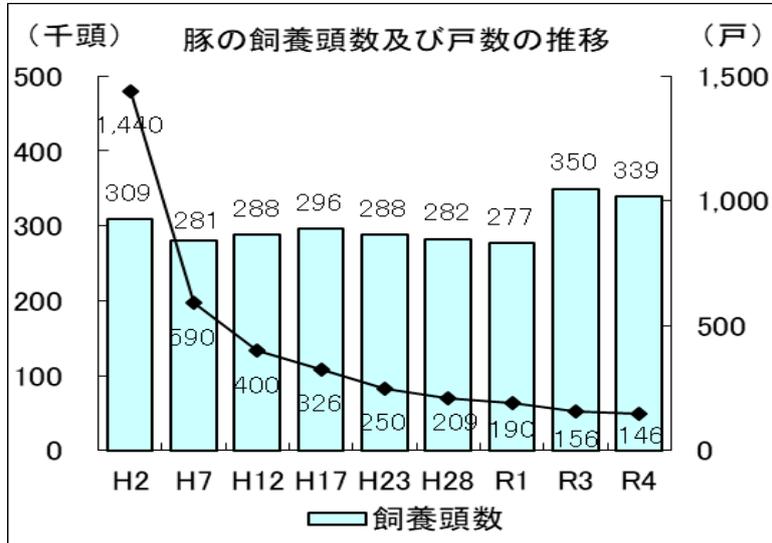


資料：農林水産省「食肉流通統計」（東京市場）

3 豚

(1) 飼養の状況（令和4年）

- ・飼養戸数：146戸（前年比6.4%減）。
- ・飼養頭数：339,400頭（前年比2.9%減）。



資料：農林水産省「畜産統計」

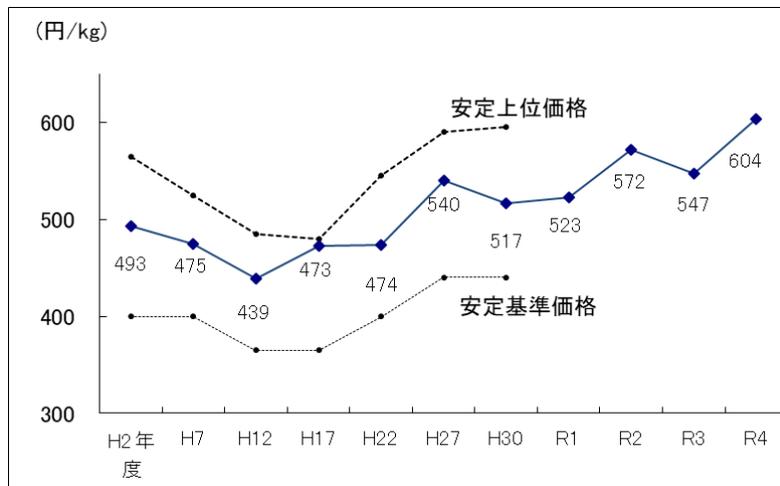
(2) 豚枝肉の価格（令和4年度、卸売価格）

- ・604円/kg（前年比10.4%増） 直近（R5.3月）551円

平成26年度から29年度にかけては、25年度の猛暑の影響、国内における豚流行性下痢（PED）発生の影響等によって出荷頭数が減少したことから、高水準で推移した。

令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出自粛が広がったことから巣ごもり需要が増大し価格も上昇した。

令和4年度は、円安の影響により輸入豚肉の価格が上昇していることから、国産豚肉への需要が増しており、5～10月は600円/kgを超えて推移していたが、直近では551円/kgと、前年と同程度となっている。

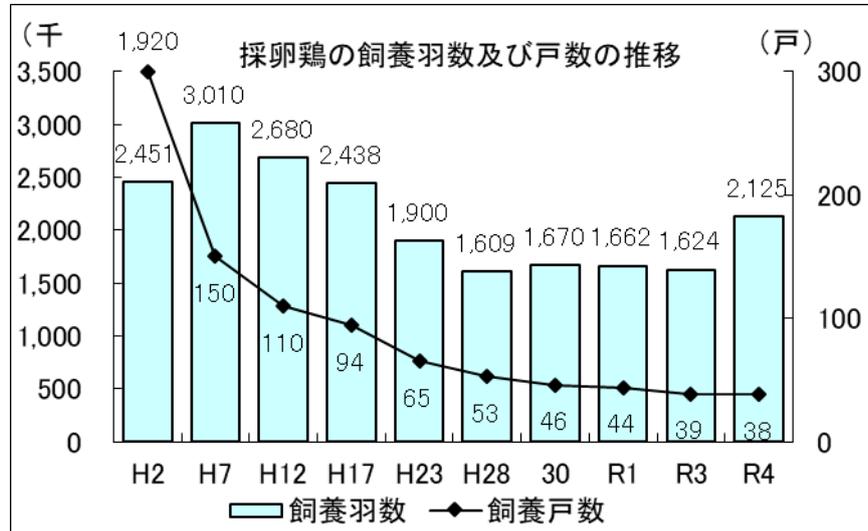


資料：農林水産省「食肉鶏卵速報」

4 採卵鶏

(1) 飼養の状況（令和4年）

- ・ 飼養戸数：38戸（前年比2.6%減）
- ・ 飼養羽数：2,493千羽（前年比35.2%増）



※グラフの飼養頭羽数は成鶏雌のみ

資料：農林水産省「畜産統計」

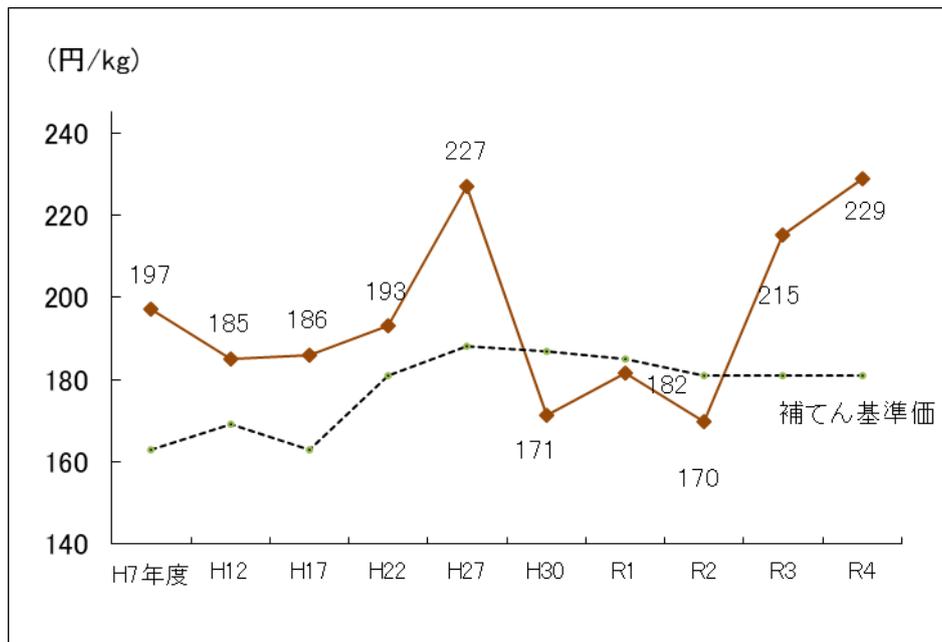
(2) 鶏卵の価格（令和4年、卸売価格）

・ 229 円/kg（前年比 6.4%増） 直近（R5.4月）350 円/kg

鶏卵の自給率は高く、需要も概ね安定的に推移していることから、生産量のわずかな増減が価格の動向に大きく反映される傾向にある。25年夏以降、需要が旺盛であったことから29年末までは高水準で推移。しかし、高価格に反応した生産者が生産拡大したことにより、価格が低迷し、30年以降成鶏更新・空舎延長事業が毎年発動する状況が続いた。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により外食需要が低迷したことが鶏卵価格下落の大きな要因となり、鶏卵価格差補填事業や成鶏更新・空舎延長事業の発動が続いたが、鶏卵価格補填事業については、積立金が不足したことから R2.9月以降発動停止となった。令和2年の秋以降の価格は、国内で高病原性鳥インフルエンザが多発したことから需給のバランスが崩れ、令和3年5・6月は260円近くになるなど高値を記録。その後も200円/kgを超える価格で推移していたが、令和4年10月以降の高病原性鳥インフルエンザの影響で卸売価格は更に上昇し、直近（4月）では350円/kgとなっている。

※ 成鶏更新・空舎延長事業：鶏卵の取引価格が通常の変動を超えて大幅に低下した場合、成鶏の更新に当たって長期の空舎期間を設けて需給改善を図る取組みに対し奨励金を交付。

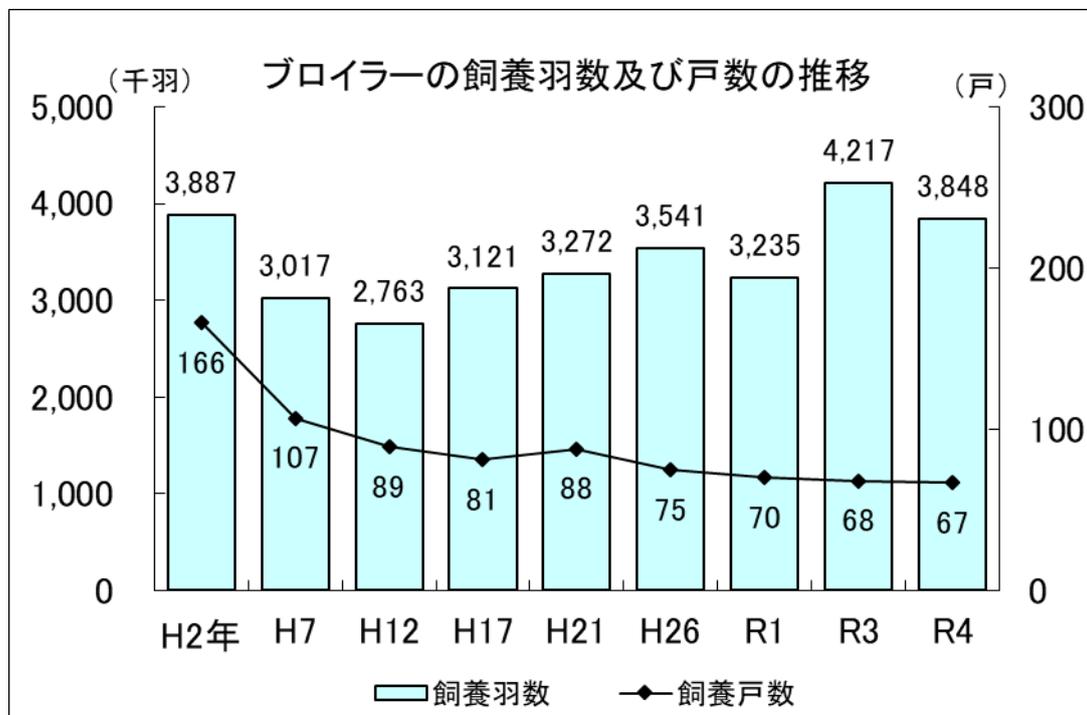


資料：農畜産業振興機構「鶏卵の価格」株式会社 JA 全農たまご（東京 M）

5 ブロイラー

(1) 飼養の状況（令和4年）

- ・ 飼養戸数：67戸（前年比1.5%減）
- ・ 飼養羽数：3,848千羽（前年比8.8%減）



資料：農林水産省「畜産統計」

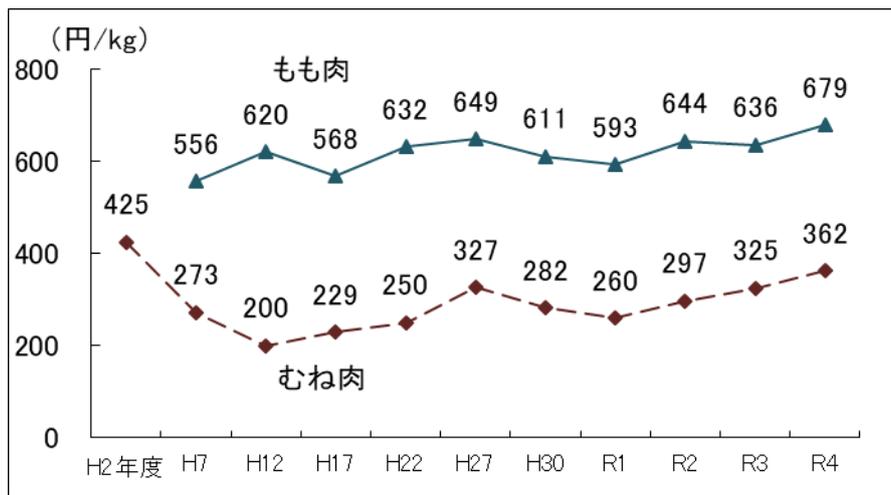
(2) ブロイラーの価格（令和4年度、卸売価格）

- ・ もも肉：679円/kg（前年比6.8%増） 直近（R5.3月）813円
- ・ むね肉：362円/kg（前年比11.4%増） 直近（R5.3月）418円

もも肉・むね肉いずれの価格も、健康志向の高まり等を背景に高水準に推移。

もも肉に対する嗜好が高く、むね肉の2～3倍の価格で推移。近年、むね肉もサラダチキン等加工品を中心に需要を伸ばしている。令和2～3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により巣ごもり需要の高まりを受け、高値で推移した。

直近では、豚肉と同様に円安の影響により輸入鶏肉の価格が上昇しており、国産鶏肉の需要が拡大。また、物価高による節約志向から牛肉や豚肉よりも安価な鶏肉は需要が高く、卸売価格は直近（3月）でもも肉813円/kg、むね肉418円/kgと、R4平均と比較しもも肉で20%、むね肉で15%上昇している。



資料：農林水産省「食鳥市況情報」

6 養蜂

(1) 飼養の状況 (令和4年)

- ・飼養戸数：229戸（前年比14.8%増）、近年は増加傾向で推移。
- ・蜂群数：13.3千群（前年比6.0%増）、近年は増加傾向で推移。
- ・はちみつ生産量（令和3年）：237ト（前年比6.3%増）、近年は増加傾向。

○蜜蜂の飼育動向

単位：戸、千群、トン

| 年次 | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | 順位 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-----|
| 飼育者数 | | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | 7,235 | 5,342 | 4,790 | 5,353 | 9,567 | 9,452 | 9,325 | 9,578 | 9,782 | 10,021 | 10,529 | 11,276 | 24位 |
| 熊本県 | 157 | 122 | 93 | 94 | 129 | 124 | 128 | 147 | 173 | 196 | 195 | 229 | |
| 蜂群数 | | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | 214.1 | 184.2 | 178.3 | 175.4 | 212.9 | 211.6 | 213.0 | 213.1 | 215.2 | 213.4 | 223.8 | 242.2 | 3位 |
| 熊本県 | 13.8 | 12.0 | 10.5 | 10.4 | 10.4 | 11.2 | 11.5 | 11.7 | 11.8 | 12.1 | 12.5 | 13.3 | |
| 蜂蜜生産量 | | | | | | | | | | | | | |
| 全国 | 3,362 | 3,024 | 2,892 | 2,639 | 2,865 | 2,754 | 2,827 | 2,826 | 2,911 | 2,929 | 2,745 | - | 2位 |
| 熊本県 | - | - | - | 205 | 195 | 206 | 213 | 192 | 202 | 222 | 237 | - | |

資料：農林水産省公表「養蜂をめぐる情勢」

7 農用馬

(1) 飼養状況（令和2年）

- ・飼養戸数：96戸（前年比2.0%減）
- ・飼養頭数：重種馬（繁殖）347頭（前年比57.0%増）
肥育馬頭数 4990頭（前年比33.9%増）

馬の飼養戸数及び飼養頭数の推移（単位：戸、頭）

| | H10年 | H20 | H27 | R1 | R2 | R3 | |
|-------|---------|---------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 飼養戸数 | （全国）*1 | | | 4,799 | 4,536 | 4,474 | - |
| | （熊本県）*2 | 184 | 106 | 125 | 98 | 96 | 93 |
| 総飼養頭数 | （全国）*1 | 111,330 | 83,152 | 69,041 | 78,247 | 77,762 | - |
| | （熊本県）*2 | 3,832 | 5,085 | 4,128 | 4,933 | 4,390 | 4,424 |

*1：（公社）日本馬事協会とりまとめ

*2：熊本県畜産統計（調査時点：～H23は各年の12月31日、H24～は各年度の2月1日）

（飼養戸数及び総飼養頭数には、軽種馬、乗用馬、小格馬も含まれる）

重種馬（繁殖）頭数は、H29～R1は300頭を割り込んでいたが、R2以降300頭超で推移位している。

重種馬（繁殖）頭数及び子馬生産頭数の推移（1才以上）

| | H10年 | H20 | H27 | R1 | R2 | R3 | |
|---------------------|---------|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 重種馬（繁殖） （明け2才以上） | （全国）*1 | | | 1,896 | 1,950 | 1,878 | - |
| | （熊本県）*2 | 310 | 162 | 243 | 221 | 347 | 332 |
| （参考） 子馬生産頭数 | （全国）*1 | | | 1,101 | 1,041 | 1,020 | 1,341 |
| | （熊本県）*1 | 135 | 85 | 80 | 96 | 93 | 69 |

*1：（公社）日本馬事協会とりまとめ

*2：熊本県畜産統計（調査時点：～H23は各年の12月31日、H24～は各年度の2月1日）

肥育馬頭数は、平成23年に発生した生食用馬肉の食中毒等の影響による馬刺しの需要の低下や、カナダ産肥育素馬の高騰等の影響もあり、一時減少したが、現在は回復傾向で推移。

直近のと畜頭数は、全国で年間約11,000頭、うち熊本県は、約4割を占めている。

肥育馬頭数及びと畜頭数の推移

| | | H10年 | H20 | H27 | R1 | R2 | R3 |
|------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 肥育馬 | (熊本県)*2 | 2,258 | 4,195 | 3,148 | 4,146 | 3,296 | - |
| と畜頭数 | (全国)*3 | 20,200 | 15,003 | 12,466 | 10,297 | 10,291 | 11,367 |
| | (熊本県)*3 | 7,576 | 7,062 | 5,642 | 4,334 | 4,403 | 4,990 |

*2: 熊本県畜産統計 (調査時点: ~H23は各年の12月31日、H24~は各年度の2月1日)(飼養戸数及び総飼養頭数には、軽種馬、乗用馬、小格馬も含まれる)

*3: 農水省「畜産物流通統計」

*1: (公社) 日本馬事協会とりまとめ

*2: 熊本県畜産統計 (調査時点: ~H23は各年の12月31日、H24~は各年度の2月1日)
(飼養戸数及び総飼養頭数には、軽種馬、乗用馬、小格馬も含まれる)

*3: 農水省「畜産物流通統計」

8 飼料作物

(1) 作付の状況 (令和3年)

- ・ トウモロコシ : 3,060ha (前年比4.7%減)
- ・ ソルガム : 713ha (前年比5.7%減)
- ・ 牧草 : 14,400ha (前年比増減なし)
- ・ 稲WCS (R4) : 8,519ha (前年比6.6%増) ※R3-R4比
- ・ 飼料用米 (R4) : 1,672ha (前年比29.1%増) ※R3-R4比

近年は、青刈りトウモロコシとソルガムが減少をみせる一方で、稲WCSと飼料用米は増加した。牧草は令和元年以降横ばいで推移しており、飼料作物全体の面積も同様の傾向を示している。

| 区分 | 単位 | H2年 | H7 | H12 | H17 | H22 | H27 | R1 | R2 | R3 | R4 | |
|----------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 青刈トウモロコシ | ha | 9,070 | 6,670 | 6,080 | 4,590 | 4,330 | 3,720 | 3,400 | 3,210 | 3,060 | - | |
| ソルガム | ha | 3,110 | 2,180 | 1,990 | 1,340 | 1,420 | 965 | 744 | 756 | 713 | - | |
| 牧草 | ha | 16,300 | 14,900 | 13,100 | 13,100 | 12,900 | 14,300 | 14,400 | 14,400 | 14,400 | - | |
| 飼料用稲 | 稲WCS | ha | - | - | 143 | 1,144 | 3,308 | 6,987 | 7,757 | 7,852 | 7,994 | 8,519 |
| | 飼料用米 | ha | - | - | - | 654 | 1,296 | 1,175 | 1,135 | 1,295 | 1,672 | |
| 計 | ha | 28,480 | 23,750 | 21,313 | 20,174 | 22,612 | 27,268 | 27,476 | 27,353 | 27,462 | - | |

資料) 農林水産省「耕地及び作物面積統計」及び「新規需要米の取組計画認定状況」